



# 公明こうべ

2024年  
vol.2

発行：公明党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 <http://www.kobe-komei.net>



## 全国初 高校生の市内通学定期・無料へ

### 市外通学にも無料を求める

令和6年度の定例市会(2月15日～3月26日)で予算案を審議し決定しました。公明党議員団が訴えてきた数多くの施策が反映されており、市の論戦の中で高校生の市内通学定期の補助、市販薬の過剰摂取「オーバードーズ」対策など、より良い施策となるように取り組みました。  
また、要望が強かった赤ちゃんへのウエルカムプレゼント、带状疱疹ワクチン接種への助成や防犯カメラの増設など実現できた主な施策を紹介します。

市内在住の高校生が電車やバスで市内の高校等に通う場合、令和6年9月から通学定期代が無料となります。

一方で市外の高校に通う生徒は対象外となっているため、受験可能な市外の高校まで対象を広げるよう市長に求めました。

久元市長は、市内における年少人口の減少傾向が続く、中長期的には生徒の確保が難しくなる恐れがある中、大阪府の高校無償化にも触れつつ、子育て世帯の流出の危惧があることから、市内の多様な高校教育環境を維持することを目的とし、行政の守備範囲である市内の高校を対象にした。合わせて広域での子育て施策の対応を兵庫県に要望するとともに、市外への拡大については今後の検討課題として述べました。

通学先	～令和6年8月	令和6年9月～
市内	現行通り	全額補助
市外	現行通り	

●現行：年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助

■高校生定期の補助対象校  
高等学校(全日制・定時制・通信制)／高等専門学校／中等教育学校(後期課程)／専修学校(高等課程)／外国人学校

※本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

**オーバードーズとは** 社会的孤立などで“辛い気持ちから解放されたい”とか“少しでも紛らわしたい”といった精神的な苦痛から逃れ、多幸感を得ることを目的に市販薬を大量に摂取すること

**依存症家族プログラムとは** アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症からの回復には、周囲の依存症に関する正しい理解と関わり方が重要になることから、依存症当事者の家族に対して正しい知識や接し方などを学ぶプログラムを新たに令和6年度から実施することで、依存症で悩む家族への支援を強化するもの

現在、若い世代で市販薬の過剰摂取に悩む「オーバードーズ」が蔓延し、深刻な社会問題になろうとしています。せき止めや風邪薬など市販薬といえども依存化すると肝臓や腎臓の障害を起し命に関わります。10代が乱用している薬物のうち市販薬の割合は、今や覚せい剤や大麻を上回り、「オーバードーズ」が原因と疑われる救急搬送が年々増加している状況です。そこで、若者に広がる「オーバードーズ」への対応を求めました。

小原副市長は、市販薬の適正販売について医薬品販売業者に対する指導及び、市のホームページの薬物乱用防止の項目に「オーバードーズ」の情報と市販薬による薬物依存への注意喚起や相談先を明記するなど市民に対する周知啓発に取り組む。また、精神保健福祉センターにおける思春期の若者に対する専門医相談にもつなげ、令和6年度から実施する「依存症家族プログラム」の中に追加して「オーバードーズ」に悩まれる方への支援にも取り組むと答弁しました。

「オーバードーズ(医薬品・過剰摂取)から若者を守る!!」



### 東アジア初

### 世界パラ陸上を神戸で開催

公明党議員団が協力して推進してきた「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」が5月17日(金)～25日(土)の日程で東アジアで初めて神戸で開催されます。世界パラ陸上競技選手権大会は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会です。神戸大会は2021年に開かれる予定がコロナ禍で2回延期され、ついに本年開催されます。

会場は「神戸総合運動公園ユニバー記念競技場」で、約100か国・地域の約1,300人の選手がトラック競技とフィールド競技に分かれ、171種目で熱戦が予定されています。公式チケットは2月7日から販売が開始されており前売り券はS席1,800円です。感動すること間違いなし。是非、現地で観戦してください。



■日程：2024年  
5月17日(金)～25日(土)  
■会場：神戸総合運動公園  
ユニバー記念競技場



市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



東灘区  
岩佐 健矢  
TEL.080-7994-4645  
iwasa.kenya@gmail.com



灘区  
高瀬 勝也  
TEL.080-6209-7704  
takase.katsuya@gmail.com



中央区  
萩原 泰三  
TEL.080-7994-4627  
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区  
菅野 吉記  
TEL.080-6209-7711  
yoshinori@sugayan.jp



北区  
徳山 敏子  
TEL.080-6209-7712  
toshikotuyama@gmail.com



北区  
堂下 豊史  
TEL.080-4363-9251  
doshita.toyoji@gmail.com



長田区  
坂口 有希子  
TEL.080-7674-6456  
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区  
門田 まゆみ  
TEL.070-3182-6213  
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区  
壬生 潤  
TEL.080-6209-7707  
mibujun@gmail.com



垂水区  
細谷 典功  
TEL.080-7674-6455  
hosoya.kobe@gmail.com



西区  
吉田 謙治  
TEL.080-6209-7700  
yoshida.kenji@gmail.com



西区  
宮田 公子  
TEL.080-7674-6451  
kimikomiyata0120@gmail.com



## 全国初

### 市が民間新入社員に住宅手当を支給

市内に本社を置く、中小・中堅企業が従業員に住宅手当を支給している場合、市内在住で入社3年目までの若手社員(29歳以下)に対して、支給額の2分の1(上限1万円)を神戸市が追加支給します。

さらに、高齢化が進んでいる地域に居住の場合は3分の2(上限1.4万円)を支給し、中小・中堅企業の支援と若者の定住を促進します。



### 安心なまちへ防犯カメラを倍増

子どもや女性に対する犯罪防止を主目的として、通学路や駅周辺などに市直営の防犯カメラを2500台設置してきました。



さらなる安心感の向上と犯罪の起きにくいまちづくりのため、3年かけて2500台の防犯カメラを増設し、合計5000台のカメラで市民の皆さまの安全を守ります。

また、地域カメラから直営への変更を積極的に推進し地域負担の軽減を図ります。

### 総点検 災害時の緊急輸送道路を確保

能登半島地震では道路の寸断によって救助の遅れや救援物資が届かないという問題が起きました。

阪神淡路大震災から30年を迎える本市は、災害時の迅速な対応と被災者の安全確保のためにも積極的に緊急輸送道路の確保に取り組めます。



### 自然の家でファミリーキャンプ

これまで学校・団体のみが利用可能であった、摩耶山にある自然の家が新たに生まれ変わりファミリーキャンプができるようになります。

周りには森林植物園や六甲山牧場などの自然の中で体験や活動ができる施設も豊富で立地は抜群。神戸の新たな人気スポットになることが期待されます。



湖畔・棧橋の夜間イメージ

### 神戸のサイクルツーリズムを推進

訪日外国人の観光スタイルが買い物主体の「モノ消費」から、体験型観光の「コト消費」へと変わってきています。市内での自転車を活用した観光地域づくりのため、サイクリングモデルルートをもとめた市ホームページの作成、そして広報を行うことになりました。

特に六甲山森林植物園ではマウンテンバイクが楽しめるルートを設置します。



### 北区に小児急病センター

急に子どもの具合が悪くなった時に利用できる神戸こども初期急病センター(中央区)や西部休日急病診療所(西区)に加え、新たに令和6年4月に済生会兵庫県病院内に「北部小児初期急病センター(仮称)」が開設します。

これで北部地域の小児の休日・夜間の初期救急医療が充実します。



### 出産祝いに37,000円相当をプレゼント

これまでの出産お祝いプレゼント(初回10,000円相当)に加え、令和6年4月1日以降に新たに子どもが生まれた世帯には、月に1回(3,000円相当を9回)のおむつやミルクなどの育児用品を配達し、声掛けや支援情報の提供等も行う「こべっこウェルカム定期便」をはじめます。



### 带状疱疹ワクチン接種助成が開始

带状疱疹は、50歳を超すと発症率が高まり、ワクチンの接種で発症や重症化の予防が期待されています。

しかし、接種費用が高額であるため、接種したくてもできないとの声があり、令和6年度において50歳以上の方を対象とした助成が実現しました。

- 対象者 / 50歳以上(接種日現在)
- 所得制限 / なし
- 補助額 / 県・市とも2,000円 計4,000円
- 補助回数 / 1回(生ワクチン・不活化ワクチンいずれか)
- 実施日 / 令和6年4月開始



### ユニバーサルデザインマップでバリアフリー情報が拡大

今年2月に公共施設のバリアフリー情報が本市ホームページの「神戸市バリアフリーマップ」において地図上で容易に検索できるようリニューアル。さらに、この夏を目指し、民間アプリを活用して利用者から情報を投稿していただくユーザ投稿型で民間施設のバリアフリー情報を収集し、公共施設だけでなく民間施設の情報をあわせた新たなユニバーサルデザインマップとして本市ホームページ上に掲載します。



#### ユニバーサルデザインマップとは

すべての人が安心して外出できるようにするために、例えば神戸市内における障がい者の方が利用できるユニバーサルデザインの配慮がなされた施設情報(バリアフリー情報)などを、インターネット上で地図として提供するもの

### 葬儀や納骨先などへの不安を解消

頼れる身寄りがない低所得の高齢者に対して、自身の葬儀や納骨先などへの不安を解消するため、生前の葬儀予約・納骨予約の手続きを市が支援する「エンディングプランサポート」を実施します。

